

【事業所職員向け】 児童発達支援・放課後等デイサービス自己評価表

○ この児童発達支援・放課後等デイサービス自己評価表は、児童発達支援センター又は児童発達支援事業所・放課後等デイサービス事業所の職員の方に、事業所の自己評価をしていただくものです。

「はい」、「いいえ」のどちらかに「○」を記入するとともに、「工夫している点」、「課題や改善すべき点」等について

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点、課題や改善すべき点など
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	○		スペースは十分に確保されており、活動内容に合わせてマットスペース、机スペースを使い分けを行っている。
	2	職員の配置数は適切であるか	○		・児童指導員、保育士を基準数（2名）以上配置している。役割分担を行い、支援を行うことができ、状況に応じて協力体制がある。
	3	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっているか。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	○		玄関から室内まで段差がなくバリアフリーとなっており、多目的トイレも設置され配慮されている。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	○		毎日の清掃を行い、清潔な環境を保持を行っており、手に触れる部分について感染予防の為、消毒の徹底も行っている。活動内容に合わせて、マットスペースと机スペースの使い分けを行っている。
業務改善	5	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか	○		・法人の全体会議や事業所会議を実施しており、業務改善について話し合い、日々の業務の中で、職員間で相談・共有を行っている。
	6	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	○		・定期的にアンケート調査を実施しており、保護者の意見、結果を共有し会議・申し送り等で改善につなげている。
	7	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で	○		・紙面にし、保護者への配布、HPで公開を行っている。
	8	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか		○	・外部評価の実施はない。第三者評価制度等の外部評価の活用を検討している。
	9	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	○		・法人全体で研修計画を策定、担当職員を決めて実施し、毎月（8月を除く）職員研修を実施している。又外部研修も参加している。
適切な支援の提供	10	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画・放課後等デイサービス計画を作成しているか	○		・個別支援会議で話し合い、作成している。子どもと保護者の課題やニーズを明らかにできるように工夫し、作成している。
	11	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	○		・アセスメントツール・フェイスシートを使用している。
	12	児童発達支援計画・放課後等デイサービス計画には、子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	○		個別支援会議を実施し情報共有、話し合いの元、設定しており児童に必要な支援内容を具体的に設定している。
	13	児童発達支援計画・放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われているか	○		会議を行い、職員間で支援方法を共有、統一している。また、計画に沿った支援を基本として今まで取り入れていた支援内容についても継続し支援を行っている。
	14	活動プログラムの立案をチームで行っているか	○		・毎月、職員間で話し合い、カレンダー作り、手順書立案作成、改善、工夫を加えて固定されないようにしている。
	15	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	○		・行事や季節に関するごと、日替わりでの行事、新しい物を取り入れ、固定化しないようにしている。又、児童の意見を取り入れてプログラムを工夫している。
	16	（放課後等デイサービスのみ）平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	○		・利用時間等に応じて、支援内容、活動内容の設定を行い、集団でテーマを決めたり、活動計画・予定表（月・週）で細かく設置されている。個別の課題を共有して支援をしている。
17	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて児童発達支援計画・放課後等デイサービス計画を作成しているか	○		・無理なく活動に参加できるように興味関心を持てる活動の取り組みや児童の課題や状況に応じて実施している。	

	18	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	○		・午前・午後にそれぞれ申し送りをし、利用児童、活動内容、支援内容についての申し送り、把握・確認・分担・共有を行っている。
	19	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	○		・終礼時に申し送りをし、児童の様子や支援についての振り返りを共有している。
	20	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	○		・個別支援記録や活動内容を記録し、支援記録に対する研修も行って検証、改善につなげている。
	21	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画・放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	○		・各児童3～6ヶ月毎や状態に応じてモニタリングを行い、職員間で検討、見直しをしている。
	22	(放課後等デイサービスのみ) ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせさせて支援を行っているか	○		・社会生活能力、集団活動への参加等、組み合わせる工夫を行い、個々に応じて無理のないよう個別・集団活動を取り入れている。
関係機関や保護者との連携関係機関や保護者との連携	23	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	○		・担当者又は児童発達支援管理責任者は必ず参加し会議が行われている。
	24	(児童発達支援のみ) 母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っているか	○		児童発達支援の案内や通信を各市町村の保健師に配布。見学の際、保健師に配布し連携に努めている。
	25	(放課後等デイサービスのみ) 学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っているか	○		・各学校より下校表、行事予定表を頂いており、書類等はファイルで管理し、確認がすぐ行えるよう保管されている。又、送迎時や電話連絡等で確認している。
	26	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っているか			・現在、医療的ケアの必要な利用児童は利用していない。
	27	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えているか			・現在、医療的ケアの必要な利用児童は利用していない。
	28	(児童発達支援のみ) 移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚園)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	○		保護者と定期的に面談実施。開所したばかりの事もあり、移行支援の実績はないが、今後、保育所や認定こども園、幼稚園、支援学校等との連携していく。
	29	(児童発達支援のみ) 移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	○		保護者と定期的に面談実施。開所したばかりの事もあり、移行支援の実績はないが、今後、小学校、特別支援学校と情報共有を行っていく。
	30	(放課後等デイサービスのみ) 就学前に利用していた保育所や認定こども園、幼稚園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	○		・保育所に訪問して情報収集を行い、共有している。
	31	(放課後等デイサービスのみ) 学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	○		・今までで1名だけ移行あり、情報提供を行っている。又、事業所の変更や終了に際し、相談支援事業所や他事業所への情報提供。連携を実施している。
	32	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	○		・専門機関からの研修や相談をして助言を受けている。又、外部研修も受講している。
	33	児童発達支援の場合は、保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、放課後等デイサービスの場合は、放課後児童クラブや児童館との交流など、障害のない子どもと活動する機会があるか	○		・コロナ禍で外出の機会は少ないが、状況をみながら感染に気をつけて外出している。
	34	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか	○		定期的に開催されている田辺・西牟婁の会議に参加している。
	35	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	○		・定期的に面談したり、連絡帳や送迎時に日々共通理解に努めている。

	36	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）の支援を行っているか	○		・必要に応じて相談を受け、職員間で話し合い、提案を行う事や話を聞いて支援を行っている。又通信で支援についての方法や内容を全体的に通知もしている。
保護者への説明責任等	37	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	○		・契約時に一緒に紙面で確認し説明を行い、書面を交付している。
	38	児童発達支援計画・放課後等デイサービス計画を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画・放課後等デイサービス計画の同意を得ているか	○		個別支援計画書を書面にて配布。ニーズ、目標、支援内容を丁寧に説明する事を意識し、家庭との共通理解をもち、同意を得て個別支援計画に沿って支援を行っている。
	39	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	○		・相談窓口を設け、定期的に連絡し、また状況に応じて速やかに面談の機会を設け解決できるよう行っている。
	40	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	○		新型コロナ感染予防に配慮しながら昨年は実施する事が出来た。今年度も11月に感染状況を見ながら実施予定となっている。
	41	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか	○		保護者からの相談があった場合には必要に応じて面談の日程調整を行い個別面談を実施。迅速に対応しており、対応方法については事業所、家庭と相談しながら共通理解に努めている。
	42	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	○		・通信を発行し、保護者に配布している。
	43	個人情報の取扱いに十分注意しているか	○		・書類を書庫へ収納し施錠、データの持ち出しの禁止等を徹底している。個人情報の扱いについて十分注意している。
	44	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	○		・連絡帳でのやり取り、通信の配布、電話連絡、送迎時の申し送り等行っている。
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	○		・秋祭り等の開催を設け、招待をし地域住民との交流を図っているが、今年度もコロナ禍で実施出来ていない。
非常時等の対応	46	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか	○		・マニュアルの作成、策定をし、掲示を行い、職員、保護者への周知を行っている。又、契約時に周知し、感染症については新型コロナや時期毎にお知らせを配布している。
	47	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	○		・避難、防災、防犯、総合訓練を2か月に1度実施している。
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか	○		本人の状態、服薬について情報収集を行い、必要対応方法の確認や服薬について家庭、職員と情報共有を行っている。
	49	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	○		・情報を栄養士を含め職員間で共有し食事提供等に配慮している。現在は強いアレルギーをもっている児童はいない。
	50	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	○		・今日の出来事としてヒヤリハットを作成し、申し送り、会議時等、職員間での共有を行っている。
	51	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	○		・毎年定期的に研修を行い、職員間での共有を行っている。年2回セルフチェックを実施し虐待防止に努めている。
	52	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画・放課後等デイサービス計画に記載し	○		・現在必要な児童はいない。身体拘束が必要な時には状況説明を行い同意をもらうようにする。

○ この「事業所における自己評価結果（公表）」は、事業所全体で行った自己評価です。

公表：令和4年11月3日